

探究スキルとしての RESAS 習得から地域産業の理解のための活用へ

岡山県立倉敷商業高等学校 教諭 川崎 好美

1 はじめに

本校の学習活動では、根拠に基づいた地域理解のツールとして RESAS を活用している。1年「総合的な探究の時間」では、地域の産業や特産物の理解をはじめ、商人の町として栄えた倉敷の歴史文化などを学ぶ。RESAS の活用についても、1年生8クラス320名が習得できる展開を行っている。また、商業科目「ビジネス経済」「商品開発」「マーケティング」「ビジネス基礎」などにおいても、活用場面も多くあり、生徒の探究学習を支える重要なツールとなっている。

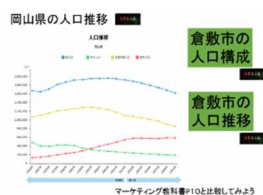
2 探究スキルとしての RESAS 活用

1年生「総合的な探究の時間」において、探究スキルを身に付けさせるために、RESAS の活用方法を習得させた。8クラス320人の展開であり、効率も考え、自作教材を活用して、人口構成・産業構造・観光・消費動向などにポイントを絞った。配当時間は1時間である。



「総合的な探究の時間」地域理解のためのRESAS活用

プレゼンテーションソフトで作成し、ハイパーリンク機能により、RESAS ページへ移動できる教材である。岡山県と指定地域、他県との比較などの理解のポイントを示した。短時間および複数講座で展開ができるようにした。



自作教材

3 探究学習としての RESAS 活用

着目したのは、「繊維産業」に係るマップである。倉敷市は、古くから綿花栽培が盛んであり、丈夫な太幅の織物に適した生地が潤沢に産

由加山の参道には、真田紐など細幅の土産物屋が並び歴史的な始まりもある。現在も「繊維産業」が盛んであり、デニムや学生服や畳縁などに関わる出荷品目が顕著であり、倉敷市のリーディング産業ともいえる。

a 活用マップ

- ①製造品出荷額（1事業所当たり）の推移・実数
- ②付加価値額（1事業所当たり）の推移・実数
- ③常用従業員数（1事業所当たり）の推移・実数
- ④労働生産性(実数)の推移・実習
- ⑤現金給与総額（実数）の推移・実数

外国人労働者などの受け入れにより、常用従業員数の大きな減少はないものの、現金給与総額の減少は、若者の就職には結び付きにくいなど、着目すべき点がある。

b 「ビジネス経済」（2単位）選択13名

単元「経済成長と景気循環」における探究そのものとして、RESAS 活用を取り入れ、繊維産業の現況をテーマに考察させた。パフォーマンス課題として下記のようにまとめて、授業内で共有した。

繊維産業をテーマとしたパフォーマンス課題



「ビジネス経済」パフォーマンス課題発表の様子

4 成果と課題

教科「商業」は、地域産業の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成を目指している。学年や科目に応じて、地域の現況を読み取り、現実問題として取り上げ、根拠に基づいた見方・考え方を深めさせたい。